

令和 7 年度第 1 回鹿児島市交通事業経営審議会

日時	令和 7 年度第 1 回鹿児島市交通事業経営審議会	会場	交通局 3 階 第 2 会議室
出席者	古川会長、小山委員（副会長）、江口委員、塚原委員、上仮屋委員、東川委員、奈良迫委員、津江委員（8 名）		
市出席者	交通事業管理者、交通局次長（総合企画課長）、総務課長、経営課長、電車事業課長、バス事業課長		
会次第	1 開会 2 委員及び事務局紹介 3 交通局長の挨拶 4 会長及び副会長の選任 5 報告 (1) 令和 7 年度鹿児島市交通事業特別会計予算の概要について (2) 鹿児島市交通事業経営計画の実施状況（令和 6 年度実績）について (3) 令和 6 年度市電・市バス乗車実績等について (4) 令和 6 年度の主なトピックスについて (5) 事故等調査委員会の開催について (6) 令和 7 年 7 月における市バス路線・ダイヤの改正案 6 議事 交通事業経営計画見直しの骨子(案)について 7 閉会		

会次第 5-(1) 令和 7 年度鹿児島市交通事業特別会計予算の概要について

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	大型自動車第二運転免許取得支援事業に関して利用の見込みは。
事務局	大型二種免許取得支援事業については、予算 120 万円、一人当たり 60 万円を上限に支援を行う。2 名を予定しており、今年 5 月から募集を開始しているが、未だ申込はない状況。
委員	電車の整備事業は外注で行っているのか。自前でしているのか。
事務局	整備の種類も様々あり、整備職員については募集をかけている。勿論局職員で可能なものについては、局で行っているが、設計書や、完了検査が必要になる整備等については、外注せざるを得ない。

会次第 5-(2) 鹿児島市交通事業経営計画の実施状況(令和 6 年度実績)について

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	6 年度の電車有責事故の目標値 5 件に対し、実績値 13 件と及ばなかったことに対する総括は。また、人数の増に伴う時間外勤務の減少も把握しているが、まだ時間外が多いのではないかといった意見も見られる中、それを踏まえた考えは。
事務局	職員の数については、未だ不足しており募集を継続している状況。そのような経緯もあり、時間外が多くなった。事故について、多くは道路障害が原因と把握している。右折車両と電車の接触といった事故には、軌道敷内の自動車運転マナー啓発の強化や電車基本動作の徹底といった取り組みから事故の防止に努めていきたいと考えている。

会次第 5-(3) 令和 6 年度市電・市バス乗車実績等(速報)について

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	時代の流れとともにキャッシュレス決済が相当数増加していると思うが、費用はどのようになっているのか。

発言者等	協議事項・質疑・回答等
事務局	キャッシュレス決済については、1年で600万円程度の費用を要している。キャッシュレス化が進むことにより、今後、費用面での課題となることも予想されるが、事務負担・事務効率を考慮するとキャッシュレス化を進めていくべきであると考えている。
委員	市バスのシティビュー人員の伸びが顕著と考えるが、その要因と利用人員が増えることへの対策は。
事務局	増加の要因はクルーズ船等による外国人の利用増加が大きいのではないかと考えている。人員増加への対策としては、クルーズ船が来航した際、シティビューの車両を通常の中型バスから大型バスに変更する対応を行っている。
委員	インバウンド増加に伴い suica 等が非対応の市電市バスでは、クレジットカードを出そうとした際にドアが閉まり、対応できないケースがみられる。乗客への周知徹底の取組を強化した方がよいのではないかと考える。
事務局	クルーズ船来航の際は、脇田電停に職員が立って乗客への説明を行っているほか、車内での乗客への周知に努めている。また、中央駅ではイベントの際、同様の対応を行っているが、イベント等がないときには、そういった対応をしていない。乗客への周知徹底については、今後も取り組んでいきたい。
委員	仙巖園駅が完成し、多くの利用者がいると見込んでいる。市内周遊の観点からみればシティビューにも強みがあると考えているが、仙巖園駅完成に伴い、乗車実績等がどうなったのか。今後を注視していくべきと考える。

会次第 4-(4) 令和 6 年度の主なトピックスについて

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	クレジットカードタッチ決済データのオープンデータ化について、個別データ提供依頼では、特定の属性、例えば年齢等に絞って加工されたデータを提供してもらえるのか。提供されたデータをもとに行った研究結果を局 HP で掲載する等すれば、一定の成果が得られるのではないかと考える。
事務局	個別データ提供依頼については、指定された属性に絞ったデータを提供することが可能である。個人の特定につながらないようデータの公開には注意しながら対応しているところである。
委員	鹿児島ユナイテッド FC ホームゲーム限定市電一日乗車券について、利益の増加は。レブナイズ等他の団体とコラボした企画券にも仕組みを利用できないか。
事務局	鹿児島ユナイテッド FC ホームゲーム限定市電一日乗車券については、増収対策の意味もあるが、市電の利用を促進する取組の一環として販売を行ったものである。ユナイテッド側からの要望もあり発売に至った経緯があり、券面の開発費負担も先方が担った。他の事業者からもそうした要望があれば、検討したい。

会次第 5-(5) 事故等調査委員会の結果について

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	令和 7 年 4 月の局前渡り線における車両脱線事故について、技能教育の実施は。
事務局	当該運転手に対し実施済である。
委員	先日、天文館付近のパンタグラフで生じた事案についての説明は。
事務局	当該事案については、車両故障であり、運輸局に確認もしたが重大事故には当たらないとのことであったため、事故等調査委員会での報告事項には含めなかった次第である。また、同型の車両については、緊急点検を実施し、翌日運行を再開したところである。

会次第 5-(6) 令和 7 年 7 月における市バス路線・ダイヤの改正案

発言者等	協議事項・質疑・回答等
	(質疑なし)

会次第 6 交通事業経営計画見直しの骨子(案)について

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	市電の運賃改定については、安全運行をしっかりとしていかなければならない中、物価高騰の影響もあり、必要なことだと思う一方で、利用者の理解を得なければならないと考える。
委員	古い車両も見られる中、日常の維持費等、目に見えないところで費用もかかり、物価高騰の影響も受けていると考える。当年度の計画見直しを経ても、今後、驚くほど費用が高騰し、再度の見直しの必要が出てくる可能性もある。そういった状況下で、まずは、安全運行の維持を念頭に置いた計画の見直し検討を行ってほしい。
委員	今後の財政見通しについて、バスの増収は難しいものと考えている。その中である程度、電車の運賃改定を行うことは理解を得られるのではないかと考える。電車事業の見直しに注力すべきであると考えている。また、海外からの渡航者も増える中、インバウンド対策として車内表示の見やすさの改善といった電車の魅力向上による増収に取り組むことが必要と考える。電車の運賃制度について、市民の理解が得られるように財政上の見通しを立てながらもっと突っ込んだ内容で見直しを行ってほしい。
委員	運転手の確保について、外国人技能実習生の採用の予定は。また、市電事故には対車、脱線が多いと感じるが、対車事故については、自動車運転手がどのような点に気を付ければ良いのか把握しきれていない現状も要因であると考えている。市電の運転士目線でヒヤリハットポイントの動画を youtube 等で公開すると良いのではないかと考える。運転手の処遇改善については、どのように進めていくのか。
事務局	外国人技能実習生の受け入れについては、課題もあり、現在行っていない。職員の処遇改善については、給与面の待遇改善のほか、休みを取れる環境や、睡眠時無呼吸症候群の検査といった取組等多方面から行っているところである。
委員	正規職員の採用が今回の計画で上がってきているが、安心して働ける環境整備のためにも今後、正規職員が増えていけばいいが、今後の見込みは。
事務局	会計年度から正規職員への任用では、4 月 1 日時点で 7 名の任用があった。今後については、引き続き状況をみて検討していきたい。新規職員の募集については、今回 20 代 30 代といった若年層の採用もあった。募集は継続してまいりたい。

その他

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	電車の古い車両の中には段差の大きい車両もあり、乗降が大変である。これらは徐々に低床車両へと変更されるものとして予算化されているのか。
事務局	新型の車両は、車体が大きく現状の車庫に入らないという状況である。また、1 車両ごとに 4~5 億円程度かかるため導入は難しい状況である。
委員	車内の掲示物の場所が悪く優先席の表示がみえない状況を目撃したことがある。紙の広告も劣化等していくため、そうした車内環境を改善することでも、よい空気になるのではないかと考える。